

(議長)

次に、まちづくり推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。  
「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」(補足説明)

はい。それでは私の方から、平成28年度のまちづくり推進課所管の予算について、ご説明致します。予算書ではなくて、事前に配布した予算資料の方で説明したいと思います。

資料の7頁をお開き願います。ナンバー16番、文書広報費であります。従前と変わっているところはございませんので、説明は省略致したいと思います。

次に資料の8頁をお開き願います。ナンバー32番から39番までの企画費でございます。まず始めに、新規事業と致しまして、ナンバー32番の江差町まちづくり推進交付金についてであります。別冊の定例会資料7頁も併せてお開き願います。事業の内容につきましては、資料に記載のとおり、江差町人口ビジョンに基づく江差町まち・ひと・しごと総合戦略の実施に伴い、地域の雇用を創出する確保する、こういった観点から産業の基盤の強化や交流人口の拡大に資する取り組みを支援するものであります。ソフト事業として、若者交流促進、美しい村活動、空き店舗の活用の他、地域ブランド開発等の支援を行うということで取り組んでいきたいと思っております。

また、今般新たにですね、ハード系事業ということで、本町の長年の懸案でありました宿泊施設の整備、或いは一次産業の基盤強化に資する整備、施設の整備、そういったものにも支援をして参りたいというところでございます。当面はソフト事業に関する予算組みを行わせて頂きたいなと思っております。ハード系事業につきましては、制度の周知をしっかりと行って必要に応じて別途予算を対応していきたいなというところでございます。予算額は新規で1千万という計上をしております。

次に、33番の地域おこし協力隊でございます。昨年、観光振興業務に1名配置したところでありますが、本年度は特産品の開発業務と文化財振興を担う人材、ここを重点的に応募していきたいと思っております。予算額については、2名の予算額を計上しております。

次に、ナンバー34番のふるさと応援基金対策についてです。昨年の4月30日から特典付きのふるさと納税制度がスタート致しました。この間、3回にわたって議員の皆さん方のご理解を頂きながら、補正をしてきました。今、1,500万を超えるところでございますが、本年度につきましては、商品の新たな追加或いは開発、あと既存の商品のプライスの見直し、それらを図りながら、まずもって5千万をまず目指して、4月スタートしていきたいと思っております。

次に、ナンバー35番の情報発信強化対策につきましては、昨年度と変わっておりませんので、説明を省略致します。

36番の乗り合いタクシーの運行事業であります。これも交通空白地帯の鹹川から小

黒部間の予約制のタクシー運行事業でございます。昨年と大きく変わっておりませんので、説明は省略させていただきます。

ナンバー37番の過疎地域自立促進基金の積立につきましては、財政課の予算説明ということになりますので、別途整理したいと思います。

次に、ナンバー38番の開陽丸青少年センターの補助であります。町長の執行方針にもございました、当センター内に観光インフォメーションセンターを付与するというので、観光インフォメーションに該当する職員2名、或いはその環境整備にする予算組みを致しました。今般、予算の総額は、2,925万2千円と、前年から1千万程増額となっているということですが、町の入口が無かったということ、今回、開陽丸拠点にしながら、町の入口をしっかり作っていくということでございます。

次、ナンバー39番の企画事務であります、例年と変わったところはございません。

なお、今年度、総合計画の見直し或いは総合戦略のPDCA、そういったものが10月、11月に行われる予定でございます。

次に資料の9頁をご覧ください。ナンバー70番の統計調査総務費であります、昨年、国勢調査が終わりまして、28年度は経済センサスの活動調査を予定しております。予算大きく減額となっておりますが、国勢調査の委託金が主な要因でございます。

次に、歳入でございます、特に変わったところはございませんが、寄附金が昨年スタート500万でスタートしたもの、今年は5千万の歳入を見込みながらスタートしたいというところでございます。

最後に、今定例会の議決をお願いしております、江差町の過疎地域自立促進市町村計画でございます。計画本体については、事前に配布しております、別冊の資料になってございますが、先般の議会の全員協議会でもお話致しました通り、過疎法の改正によりまして、法の執行期限が平成27年度末から32年度末まで延長したと、いうことに伴いまして、今般、計画の内容を整理させていただきました。計画の中身については、具体的に説明は省略致しますが、過疎法の規定に準じて、それぞれの項目ごとに現況と問題点、そしてその対策と計画を記載しております。当然、計画の見直しにつきましては、町の総合計画或いは総合戦略、それらとの整合性、また各課とのヒアリングを踏まえながら、積み上げた計画でございます。なお、今回のスタートに当たっては、新たな事業については敢えて入れ込みをしておりません。新たな事業につきましては、また計画の変更について、議会の議決を得ながら適宜対応して参りたいと思います。

それでは、以上、まちづくり推進課の所管の平成28年度の予算及び今議会定例、議決をお願いしている案件の説明とさせていただきます。宜しくお願い致します。

#### (議長)

説明が終わりましたので、一括質疑を許します。

質疑希望ありませんか。

「室井議員」。

### 「室井議員」

はい。はい。あの、まちづくり推進課の皆さんに、あの大変ね、忙しい時期だったのかなど。地方創生から、色々なことで、どんどんどんどん世の中変わっていく。そんな中で、毎日そういう対応していく、大変な時期で、苦勞されたなと思っています。それで、今回総体的に、新しい事業がどんどん入ってきています。これは、思っているより、例えば100パーセントいかなくても、やっぱりどんどん前向きにやっていくというそういう姿勢は、やっぱり崩さないで、頑張ってもらいたいなと思います。

それで、具体的に、何点か。まず、これは担当課にまずあの質疑致します。

まず一点目、北の江ノ島構想。

それと二点目、旧江光ビル跡地活用の江差商工会との関連性。

それと三つ目は、宿泊施設、これはあの宿泊施設の整備補助は、産業振興課ですね。それでは、これはあの宿泊施設これ大変な問題どこからや、どこの課が今とりあえず、あの良いのかなと考えたのですけれども、これはやっぱり町を大きく動かすという意味で、まちづくり推進課がいいのかなとこう思っています。

四点目、ふるさと納税のちょっとこれ使い方。

この四点ですね。そして総括的に、これあの予算質疑のあの私のあの資料事前配布しています。宜しいですか。先にここからいきたいと思いますが、宜しいですね。

あの課長、今、例えば、北の江ノ島構想、これは、この名称が良いか悪いか別にして、かもめ島を中心としたあの市街地を、活性化していくと。この方向は、誰もが、否決する否定するものではないと考えております。あそこを、元気にしていく、そういうことが、江差の将来に必ず繋がっていくのだという、そういう強い思いを持ってもらいたいと私は思います。

それで、これ提出した資料見たと思いますけれど、私はあのこれ全てではないです。ステップ1からステップ5まで、書いています。このことを、十分認識して、そういう事業に取り組んでいく。これ思いは、思いから事業実施まで、こういう風に私は皆さんに提案しています。これはこういうことやりたいのだと、そういう段階で、やっぱりこういう基本調査、基本構想、基本計画、実施計画、これ全部書いています。これ読むだけでだいぶ時間かかりますから、皆さん念頭にもう頭の中に入っていると思いますけれど。

まず担当課長として、北の江ノ島構想、例えば、着手する場合はこういうステップを踏んでいかなければ実現しないのだよ、と私は敢えて前向きな提案しています。この提案に対して、あのどうまずご理解しているか、担当課長のあの答弁を願いたいと思います。

### (議長)

はい、「まちづくり推進課長」。

「薄木議員」

議長、議事進行。

(議長)

はい、「薄木議員」。

「薄木議員」

只今、室井議員の質問は本人と答える方は分かるのだけど、我々議員には何も分からない質問であります。それを室井議員は僕の提案したのを答えてくれと言っても、我々は何を聞いているかわからない。

せめて、室井議員が質問要項に出したものが我々議員にも配布されれば、我々も聞けると思いますので、この場を借りてコピーして配布して頂ければと思いますので、議長の判断をお願い致します。

(議長)

室井議員、今、室井議員が質問の中で質問という風に私は受けますけれども、それでね、今の資料を部数もっておりますか。

「室井議員」

持っています。コピーしてください。

(議長)

コピーね。

「室井議員」

はい。

(議長)

そうしたら、暫時休憩して、コピー。

「室井議員」

直ちにコピーしてください。

(暫時休憩中)

(議長)

「室井議員」。

「室井議員」

はい。休憩中だったからごめんなさいね。

それで、まずあの課長、具体的な今提案載っています。していきます。そのために、私は今、根本的に覚えてほしいのは、色々なところで提案しています。皆さんの色々な団体が。じゃあどこの課が責任もって、実際にまちづくり、動かしていくのだと。動かしてほしい、今の、現状を打破してほしいと、だからこのステップ1からステップ4まで、これが全てではないですよ。そういうことで、私は質問していますので、この考えについて、見解を聞いてから、再質問において具体的な質問をさせてもらいたいと思いますので、宜しくお願いします。

(議長)

はい、「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」

まずあの室井議員の今のご質問ですが、室井議員の方からはまちづくり全般に関する、ロードマップというような提案を私は受けたとっております。

まさしく、今回の議会私もずっと入ってきて感じたのは、あの庁内の政策間連携、或いは官民協働、こういったスタンスの中で、これからまちづくりが進められていくのだなということ強くあの認識したところでございます。

あの、当然、私共の課は今年の4月1日の機構改革でこれまでの政策推進課から、まちづくりと。まさしくその分かりやすく、そして一步踏み出すための課だと思っております。これまで以上に各課との連携を深めながら、先程言われました、宿泊施設、各課に予算またがっていますが、私たちが私の課が、そのハブになって、各課と調整を踏まえて、一步でも二歩でもあの前に進めるような、そういう努力をして参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

「室井議員」

よし、いいね。

(議長)

いいですか。

「室井議員」

はい、議長宜しいですか。

(議長)

はい、「室井議員」。

「室井議員」

あのそういう認識でね、課長宜しいですか。そういう認識で、一緒にね、町民と一緒に、ね、頑張らなければならないのだ。ね、だからその前提として今申し上げます。

それで、具体的な、質疑に入りたいと思います。これ議長から注意を受けますので、それに基ついで具体的にいきたいと思います。

まず、かもめ島周辺、これはもう町長、はっきり言って第二の道の駅か海の駅でもいい、この、をやるのだという、やっぱり前提で、きちっとやっぱり対応していく必要がある。そのためには時間がかかるのだから、早く、やる。これは絶対、よその町に負けないものを作るというね、そういうものの決意を持って、まずやってもらいたいというのが一つです。

それに併せて、あそこに悠久な民間施設もあります。それから青果市場、漁協の施設等もあります。これらを踏まえて、かもめ島のあの両サイド、きちっと整備を、全体計画を作るのだという、そういうことを、調査費も付けてちゃんと予算化していく、ということが大事じゃないかなと私は考えます。その認識について、答えてもらいたいと思います。

それと、商工会といえば江光ビルの跡地。これなかなかね、難しい課題もたくさんあるかと思えます。あの道路がどういう風になるか、今、土現で28年度施工する道路が、どういう風なカーブをとるのか、残地がどの位残るのか。これによって、あのその利用形態も色々検討する余地があると思えますけれど、これは建設水道課で質疑しますので、この部分は避けますけど、それで商工会との経緯、どの位目途に、もし今出来れば、商工会としては、こういうことは欲しいのだと、そういう要望があつたら、聞かせる範囲で教えてもらいたい。

それと、何と言っても、何と言っても、宿泊施設ですよ。私も色々と、調べて頑張りました。そして町長、あの町長の思いも同じだと思うのだ。あの既存の、宿泊施設に整備するところには改修費補助しますよ。そして既存で頑張っている人方がですね、やっぱり困らない、経営に困らないと、ならないに配慮しながら、やっぱりもう一步、踏みこんでやっぱり江差の、宿泊施設これだけ、これだけです、皆言われてる、江差だけでない。色々な方から言われています。宿泊施設が、まず、新幹線出来た二次交通よりも大事なのだと。江差は宿泊施設が一番問題なのだと。今、森の、いいですか、森の、町と噴火湾、室蘭と高速フェリー試運転しましたよね。あれ、内浦湾、波がないです。私もフェリーに聞きました。稚内の市長さんは、市長さんは、自分の町を売り込むより礼文、利尻島を一所懸命売ったのです。礼文、利尻、礼文、利尻って。稚内でないのです。あそこにはレブンアツ

モリソウっていってもう、日本じゃ大変貴重な花が、難解植物があります。

奥尻はですね、町長聞いてくださいね、課長いいですか、あそこはオクシリエビネといって夏に咲く花があるのです。夏に、これマニアにとってはですね、是非見たい蘭なのです。だから私は、奥尻と、もっと江差が連携してやりたいけど、困っているのは、交通アクセスはまだいいと、何といたって宿泊施設がないのだと。だからこの宿泊施設を、なんとか頑張って何か江差でやれないのかと、既存のそういう、ですね、業者の圧迫、かけないような、そういう対応をしてもらえないかと、こういう考えがありました。そして、この宿泊施設、これはですね、本当に考える元年にしていきたい。町長もそういう思いで予算計上したと思います。何年か時間かかります。でも、この課題に、思い切って挑戦しなかったら、一步も二歩も動かない、こういう風に私は認識していますので、これは、多少、多少ですよ、批判があっても、多少、無理な、そういうことが予測されても、そう、打破していきたいという、そういう強いですね、決意を、伺いたいと思います。

最後に、ふるさと納税。寄附された方、江差町の色々な食材、ね、期待することもあるかと思いますが。しかし、そのなかの一部には、江差町に十万円寄附した、なんだ、私が、ちゃんと寄附、これ、わかっていますね、まちづくり、私が中に入ってやりました。ね、わかっていますね、ものでないのです。江差の町が良くなって欲しいのだ、こういう想いで、今、病院にいますよ。病院に今入院していますよ。でも、その方は、江差の町が良くなって欲しいから何か使って欲しいのだと、そういうことがあって、私も半額いららないよ。国仙さん分かっていますね、だから、私は、そういう町づくり、ふるさと納税の一部を使って、やはり、基本調査、基本計画に、着手して行って、この宿泊施設の、考える元年にしていく、そういう思いでおりますので、これは、副町長、町長、なりに、答弁きちっとしてもらいたい、こう思います。以上です。

## (議長)

まず、「まちづくり推進課長」。

### 「まちづくり推進課長」

室井議員の方から4点に渡ってご質問がございました。

まず、かもめ島周辺の関係でございまして。北の江ノ島構想という事で、町政執行方針には書かせて頂いておりますが、これまでも私の方からお話してきましたが、かもめ島周辺につきましても、昭和60年代に、ニシン村構想というものがあるなど、あるいは平成に入ってから、あの、新北埠頭ができてあそこにあった、チップ材、あるいは石積場、新北埠頭にシフトしながら、南埠頭をなんとか利活用して、江差の再生を図りましょうと、いう、そういう準備は少しずつしてきたのですけれども、なかなか一步踏み出せないでいたというのがこれまでの現状でございまして。

ただ、平成25年度に町の方で開陽丸周辺のコソルの方の方に委託を致しました。そこで

出てきたのが、道の駅という、一つの方針でございます。それで私、昨年6月議会でもお話ししましたが、町ではハード的なものについては道の駅構想、を踏まえながら、もう一つ一方で、短期的に取り組めるものは何かないのかということで、ソフト事業をまず庁舎内で、積み上げをしていきたいと思います、これまで検討して参りました。

中長期的には、当然その港湾を活用するものですから、今年、港湾の見直しあるいはそのどういったものを作っていくのか、先程の室井議員のロードマップじゃないのですけれども、そういった、議論を、進めていく一方で、ソフトの事業、すぐ、短期的に取り組めるもの、これを今回、観光インフォメーション、あるいは江差マリンフェスタ、そういったもので第一歩踏み出したなという気がしております。ただ、あくまでもまだスタートしたばかりですので、これから、どういった機能を付与していくか、これが、私共に課せられた大きな宿題であろうかなという思いでございます。

また、かもめ島、開陽丸、道の駅というお話なのですけれども、実は道の駅もハードルがございまして、トイレとか、そういうものは何とかなるのですが、国道から少し離れた位置に、今の港湾の場所があるものですから、港湾道路沿いの、道の駅というのはなかなか難しいのだという話も、一方で開発さんの方からされております。その辺の可能性も含めながら、町長が話をしているのは、道の駅の機能を、機能を付与した、というようなお話をこれまでもってきていると思います。何とか今ある施設を、まず短期的には、磨き上げて、人が集まるようにしていきたいと。そして中長期的には、そういった方向にも舵を切っていくという検討も進めると、そういう両輪で進めていきたいと思っておりますのでご理解願います。

また、右折レーンの関係でございますが、今建設水道課の方で、開発の江差道路事務所さんと、そのような協議を始めていますので、建設水道課の方でももう1回お聞き願いたいと思います。

それと2点目でございます。江光ビルの跡地でございますが、この間、商工会の方と何度か私共も議論を重ねて参りました。

先般、商工会長と事務局長さんがみえまして、3月中には一定の方向性を示した報告書を持ってきますというお話でございます。私の方からはこの報告書は商工会のきちんと機関決定をとること、その機関決定を取る前に、中央商店街、あるいは法華寺通り商店街、ここのコンセンサスをしっかり取ってくださいね、というお話をしておりますので、それらを踏まえたもの、踏まえて、三月中には一定のものを持ってくるということになっております。ただ、その中身につきましてはこれからまた、町内でも議論が始まりますし、議会の皆さんとも協議が始まる、そういうような気がしております。いずれに致しましても、4月以降そういう江光ビルの跡地につきましては様々な動きがありますので、その時点になりましたら皆さんとまた協議を進めていきたいと思っております。

3つ目でございます。宿泊施設について、でございます。昨年の地方創生加速化交付金で、改修事業、軽微な改修事業、トイレとか、お客様が実際使う場所、の事業については、

産業振興課の方の所管で進めて参りました。そして、宿泊施設の誘致、町長の所信表明にもありますが、誘致につきましては、追分観光課の方を窓口としながら、これまでも行ってきました。で、私ども今回、まちづくり推進交付金の担当課ということで、宿泊施設の誘致もそうなのでしょう、あるいは、今ある既存の宿泊施設の皆さんが改築をしたい、あるいは増築をしたい、そういった相談にも乗っていける場所になるのであろうな、あるべきだと私は思っております。議員言う通り、これまでプロモーションもやってきたのですけれども、受入体制の整備も一方で大事なことで、この4年間まずは集中して、その江差が今まで長年の課題であった宿泊施設、その整備、に向けていきたいなと思っております。

それと、奥尻との連携でございますが、町長からも既に私共、指示を受けております。今ある奥尻航路活性化協議会、これをもう一回、フル回転させる、あるいは新たな、その観光地域づくり、そういったものを視点に入れながら、28年度、ちょっとスタートしてみたいと思っております。

それと、ふるさと納税でございます。私共、今年5千万と、ということで目標を掲げましたが、5千万に胡坐をかいているつもりはございません。これからも商品開発、できれば、町内全体の人口が8千人、6千人と、マーケットが小さくなっています。ただ、ふるさと納税というのは色々な可能性があります。売れる商品というのは我々が、選択するのではなくて、選ぶ人が、選択すればそれが売れる商品になっていくのです。ですから、あの、これはだめ、あれはだめ、という線引きは私共するのではなくて、エントリーしたい方をどんどん発掘していきたいなと、そういう勢いを持って28年度、ふるさと納税、もう少しあのリニューアルしてスタートしたいと思っております。

また、あの寄附をいただいた方の思いでございますが、実は寄附を頂く時に、子供に関する、あるいは地域の福祉とか4つ位のですね、選択肢があります。その思いの分けをしながら、実は今回、ふるさと納税の基金を一部活用しながら予算編成をしたというところでもございますので、ご理解願いたいと思っております。以上でございます。

(議長)

はい、「町長」。

(町長)

何点か補足させていただきます。まず、北の江ノ島ということで、ネーミングはどうかという話もあったのですが、こういう風な構想を持って、私は進んでいきたい。私は、横浜で育った訳なのですが、その江ノ島が拠点となって、その周りの周辺が開発、人が集まる拠点になっております。江差もその魅力を十分に持っているけれども、その魅力が活かしきれてないというのが、私は現状だと思っております。

議員、ご提案の、例えば、道の駅というようなことですが、その看板として、道

の駅と掲げるのかどうか、ということは別として、道の駅のような機能を持たせる拠点化を進めていく、という方針を持っております。全力で、私はこれを実現させたいし、それが江差の活性化に大きく繋がると確信しております。そういう面では、議会議員の皆さんにもさまざまなご意見やアドバイスも頂きながら、一緒に進めていきたいと思っております。

また、新年度からは、執行方針でも述べさせて頂きましたけれども、北海道教育大学函館校との連携事業に取り組みます。その中では、このかもめ島の活性化、どのようにして進めていくかということや学生、あるいは、先生方のアドバイスも頂きながら、そして、地域住民も巻き込みながらやっていきたいという風にも思っております。そういう時にはぜひ議会の議員の皆さんにも、ご参画頂ければなという風に思っております。

あともう1つ、宿泊施設の問題でございます。本当に議員ご指摘の通り、江差の課題の1つであるという風に認識しております。何とか、この宿泊施設をもっともっと、充実させていきたい。それは、先程議員おっしゃる通り、今ある既存の施設に対しても、今年度、27年度に支援をして参りました。それに加えて、新たな施設というところで今、手を打とうとしているところなのですが、昨日もご答弁させて頂きましたけれども、私も先頭に立ってトップセールスに歩きたいと思っておりますので、ご理解願えればと思います。宜しくお願いします。

(議長)

いいですか。

「室井議員」

議長いいですか。

(議長)

「室井議員」。

「室井議員」

これあの、担当課長も副町長もちよつと覚えてもらいたいけど、これはね、皆さんだけの責任ではないのですよ。議会もやっぱり、責任を負って、解決しなければならない問題です。皆さんだけを、提案したことをあだ、こうだでない。これ、本当に町民挙げての大きな問題だと思います。我々もね、汗をかきますから、そういう場所をね、どんどん提案してもらいたい。私共参画できる提案をしてもらいたいということが1つ。

それとまちづくり、出崎課長、大変だと思いますよ、でも、頑張ってください。エールを送ります。少しぐらいの、失敗は、恐れない方がいい。どんどん前向いて頑張ってもらいたい。以上です。答弁は結構です。

(議長)

はい、次に、次に、「小野寺議員」。

「小野寺議員」

はい、議長。3点お聞きします。

まず、説明ありました江差町まちづくり推進交付金であります。あの、先程も説明ありましたし、質疑もありました。私も、今度のこの事業、本当に今までにない、大変重要で画期的な交付金だろうと思います。ただ問題は、これにどれだけの魂を入れるかにかかってくるのかなと思います。それで、先程の説明で、少し補足で頂ければ、ある程度これを肉付けする、そのもうちょっと事業内容が、こういうことを想定しているとか、などなど、いつ頃をまず見えるようになるのか。

それと、その前に、やはりある程度固まってから、町民に知らせるのではなくて、町民の総意をいかに吸い上げるかが、吸い上げるかが、決定的に重要だろうと思いますので、色々な、若い人、高齢の人、色々な事業者も含めて、まずこんなことやりたいけど皆さんの意見どうだと、まちづくり交付金を作りたいけど、どうなのだということを、私は意見を聞いた上で、一定の交付金要綱のようなものをつくるべきではないかなという気がしますが、それも含めて、どのように考えているか。

あとちょっと、テクニク的なことかもしれませんが、この4年間というのは、4年に渡って何かの事業を継続して使えと。今までは往々にして、単年度主義、単年度予算ですから1年度、また、次の事業を受けるとしても、また改めて次の年、申請とか、道の補助金で3年間同じことを続けるとかありましたが、1つの事業を継続して、2年、3年の一定の期間を設けて、4年間見てやれると、そういう意味なのか、ちょっとここら辺教えて頂きたいなど、これが1つです。

2つ目、今もありましたが、北の江ノ島構想。私も、あの、下町の特に、島の入口でいうと、これは、重要な事業になると思います。別に、あの町長が名前は北の江ノ島という名前つけましたが、論議としてはこの間ずっと出ていたと思うんです。改めて町長が1つの視点をこれに肉付けして、さらに実行するかどうかにかかっているのかなと。で、先程、室井議員もありましたので、あまり、付け加えることはしませんが、私は併せて、港湾計画を、どれだけこれと一緒に、タイアップして、肉離れしないで、やってくかということに、なるなと思うのです。これは水産、あ、産業課にもまた聞きたいと思うのですが、所管可能な部分で答えて頂きたいと思うのですが。本当に港湾の長期計画の見直しを今までも何回も言っていますね、課長、ご存知かと思いますが。私の知っている限りもう10年ぐらい前からもう、見直そう、見直そうと。担当変われば、うやむやになって。これ、これやらなかったらあそこ動かないですよ。町長の、思いも動かない、ので、産業課とも連携取りながら、この港湾の長期構想もしつかりと町づくりという観点で、北の江ノ島構想

を、実現するのだという観点でやってく必要があると思うのですが、先程の室井議員とだぶるかもしれませんが、お聞きしたいと思います。

最後、3点目ですが、江差のウインドパワーについて、ちょっとお聞きしたいと思います。私の記憶違いがなければ、もしくは私、欠席した部分がないから、失念していると思いませんが。去年の、多分この議会だったと思うのですが、私が、あの、三セクの関係で、訴訟問題、あの、Jフイートの関係ですね、それで、色々あった時に、詳しくは改めて説明致しますと、いうことだったのだらうと思うのです。で、その後もしあれば、大変申し訳ないのですが、あの議員協議会で、あったのですね、報告ね。で、その後、要するにどうなったのか、ちょっと教えてもらいたいなど。で、併せて、現状の、今、国の全量買取り制度というのがありますから、骨格は違うとはいえ、しかし問題点は何も解決していない。現状の江差ウインドパワーの状況を教えて頂きたいと思います。以上3つ。

(議長)

はい、「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」

はい。まず、まちづくり推進交付金について、でございますが、これまでのまず、補助金、協働の町づくりとか、色々ありました。また、去年の地方創生加速化交付金で新たに若者交流、あるいはブランド品開発というものもありましたが、まず、それを1つ集約したいというのが、今回のまち交の視点の1つでございます。

また、総合戦略、検討委員会の中で話されてきました、仕事を作る、あるいは若者のチャレンジを後押しする、そういったものを具現化するために、今回、まちづくり推進交付金というものを、創設したところではあります。町民の方の意見という話もございましたが、基本的には、あの総合戦略に、を、加速させる、あるいは推進させる、そういった意味合いを持った交付金だということでご理解願いたいと思います。ただ、要綱につきましては、議会の皆さんのこの議論の場を踏まえながら、3月中には要綱を整理したい、いきたいと思っております。そして、要綱を整理次第、広報あるいはホームページ、それらで制度の周知を図って参りたいと考えております。

それと、地域について、でございますが、まずもって、昨日の小野寺議員の一般質問にもございました、総合戦略自体4年間で終わっちゃうのかというお話と同じでございます。毎年1年毎に事業の見直しをします。1年でダメなものは、ダメなのですよ。ただ、ダメなものはダメ、ただ、新たにまた作り上げるもの、もしくはもっと拡充するもの、そういったものがPDCAということだと思っております。それらを踏まえながら、4年後、こういった事業を、ラインナップとして残していくのか、それは毎年のそのPDCAの積み重ねの中で、選択されてくものだということで、ご理解願いたいと思います。

それと、北の江ノ島構想に関連して、港湾計画の見直しのご質問でございます。正しく

あの今の、江差港の長期構想というのは、平成13年度に作られたものでありまして、漁業者の数、水揚げの数、今から13年以上も前ですので、相当状況変わっております。私も前任、農林水産課長でございました。漁業者の声も聞いております。今年の執行方針にも、産業振興課長が記載して参りました。港湾計画の見直しに向けて、関係機関あるいは関係者と、協議を進めて参ります、ということですので、港湾計画の審議会の前段の、まずは下地をしっかりとあの、ならずということを28年度進める予定でございます。その中には当然、先程私申し上げました政策間連携というのも大事でございます、水産、産業振興課だけに港湾の見直しについてお任せするのではなくて、そういう議論の場に、まちづくり推進課、あるいは財政課、建設水道課、複数の課が関わりあって、議論を深めていきたいと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

小野寺議員、「副町長」。

「副町長」

私の方からあのウインドパワーの関係を、小野寺議員、ご答弁させていただきます。

あの、27年の3月4日の議会の全員協議会で、町長の方から訴訟になっていることの、実は説明報告をしたところなんです。で、現時点で、この本会議で私が今述べられる部分についてはですね、訴訟の方も実は大詰めになっている状況ではあるということだけです。それで、私は、取締役として、随時、色々情報交換申し上げておりますけれども、28年度に入って、そんなにならないだろうなという風に思っておりますが、いずれにしても、間違いなく議会の全員協議会の方に報告をさせていただきます。今ここであのどういう風になっているかという部分についてはですね、コメントは控えさせていただきます、このように思っています。

それから、現在のウインドパワー江差、江差ウインドパワーの経営状況のことだという風に思います。簡単にいうと、26年度の決算状況については、これはあの、決算報告をしております通り、約1億1千万位の利益があった部分、報告済みでございます。で、現在、これまたあの6月ぐらいに株主総会ありますけれども、現状の中では、ほぼ同じ位の売上、売電収益があるだろうという風に現在見込んでおります。ただ、風車の修理、修繕等にかかる経費がそれ相応に少し捻出になるだろうと、ただ、売上、売電の収益はほぼ前年並みには今のところ推移はしているという状況であります。加えて、北電への返済であったり、税、固定資産の納入であったり、こういったところは全て順調にきちっと返していると、こういう状況でございますのでご理解願います。

(議長)

はい、「小野寺議員」。

### 「小野寺議員」

はい。あの、まず最後の方、これは要望に留めますが、いずれにしても、要は数億円の規模で、額で、返してくれと言われている内容の訴訟ですよね。ですから、事によっては、判決によっては、大変なことになる、いずれにしても早く、経緯わかる部分で、議会に報告して頂きたいなど、要望にしておきます。

それで、まず、まちづくり推進交付金ですが、3月中ということになればなかなか、広く意見を聞くという私の、質疑の部分ではゆるくないかなと、というのは、理解しますが。あとは運用だろうと思うんですよね、ね、そうしますとね。この間似た様な、今回は補助金ではなくて、交付金、細かいことは別にして、つまりあの、私なりに、地方自治法上どうのこうのは別として、交付金、本当に、使い勝手のいい、この事業に認められる事業には、頑張って使ってくれと。でも、必ずしも交付金という名前についても、国でも道でもです、中身はもうね、補助金というか、もうがんじがらめで、面倒くさい。ですから、事業者本当に使い勝手のいい交付金、それぞれの創意工夫がしっかりと活かせるような交付金。そして併せて、町からも積極的なアドバイスもできると、あのこういうソフト、これからまたハードが出てくる。相当色々な技術的なこともアドバイスがなかったら、なかなか進まないものだって中にはありますよね。私も色々経験上、教えてもらって、そういう申請したというのもありますから、その点も改めて、積極的に、課ということではなく、全庁挙げて、これ色々な課に関わってきますね、ソフトの関係。なので、全庁挙げてやって頂きたいと思いますが、その点改めてお聞きしたい。

それから、あのちょっと北の江ノ島、これ町長の思い、場合によっては町長でいいのですが。あの、全国的なことあまりよく分かりませんが、北海道の港湾整備、見ましたら、この本当に、この数年、計画を見直して、稚内にしても、釧路にしても、あと小樽もそうですか、港湾そのものが既にその地域のプレジャー的な、まちづくり的な、道の駅がある等、ですから、あれ、これ港湾の整備計画でやっているのって一瞬分らないような、まちづくり、もう、どんどんやっていますね。つまり、昔からいけば、多分、国もそんなにそんなに面倒くさいことを言っていないのか良く分かりませんが。いずれにしても積極的に、この江ノ島構想と、北の江ノ島構想と、地域的には一致する、あのだぶる部分もある、この港湾の部分については、町長も積極的に自分の思いを、その構想を具体化する中で入れておくと、港湾の方ですけれども。そのことが、私は成功させるためにも、必要だと思うのです。その点について、町長の思いがあれば、答えて頂きたいなと思います。以上です。

### (議長)

はい、「まちづくり推進課長」。

**「まちづくり推進課長」**

まちづくり推進交付金に関する2問目のご質問でございますが、運用面、柔軟な対応ということでございますが、議員のおっしゃる通りでございます。あの補助金というのは、私も調べさせて頂きました。特定の事務、事業を補助するという事で、メニュー変更なども、制限を受ける等、裁量も許さないと非常にガチガチな制度だということでございます。交付金というのは、一方で、特定の目的に対して支援するという中身でございます。計画の中での事業間の、若干の事業費の流動も、あの裁量権の中にあるということでございますので、私共も、あまり堅いものにはしたくないと思います。

ただ、ハード事業につきましては、あの、こちらの支出する額もそれなりのものになると思いますので、そこにつきましては、図面あるいは営業計画、そういう物も提出を求めながら整理をしていきたいと思っておりますので、ご理解願います。

北の江ノ島の方でございますが、港湾の見直しにつきましては、先程来、申し上げていきます通り、この間、町長と産業振興課長も、同じ方向でこの町政執行方針を記載しておりますので、間違いなく今年28年度、その一歩に向けた関係者の協議の場が始まるということで、ご理解願いたいと思っております。

**(議長)**

はい、いいですね。他に質疑希望ありませんか。

**(議長)**

質疑希望ありませんので、まちづくり推進課所管の予算並びに、関連議案について質疑を終わります。